

事業名 4 林木育種事業

担当者名 増山知央

事業内容

林木の遺伝的素質を改善し、林業生産の増大と森林の公益的機能向上を図ることを目的として、成長量・材質・各種抵抗性等の形質の改良を進めるとともに、優良種苗の安定確保のため、下記の事業を実施した。

1 林木育種事業

本年度、塩野室育種地内の公共用緑化木養成苗畑1.10haを抜開・整地し、次年度以降に計画している花粉の少ないスギ精英樹品種によるミニチュア採種園用地の造成を行ったほか、平成18年度に造成したミニチュア採種園の北半区画(1号区画)の21品種45本から種子採取を実施した。また、枯損発生時の補植用とするため余剰苗をクローンストックヤードに仮植・養成すると共に、次年度以降に造成計画している採種園用の苗木の育成を行った。

塩野室育種地の育種母樹林については、刈払い・施肥・断幹・整枝せん定のほか、平成18～19年度に行った巻枯し処理によって枯れた間伐母樹(スギ113本・ヒノキ188本)の伐倒除去を実施するとともに、構内の建造物・道路、各種試験地、防風林の周辺の下刈り等を実施した。また、育種地看視員1名を委嘱し、管理を実施した。

2 優良種苗確保事業

スギ・ヒノキ精英樹採種園において、ジベレリンの剥皮埋込法による着花促進処理を実施した。実施箇所はスギ1号49型東15列、スギ2号東およびヒノキ1号である。ヒノキ3号では虫害防除袋かけを約2,000袋実施した。採取した種子は低温貯蔵庫に貯蔵し、払出し前に発芽検定を実施した。併せて、発芽能力を失った古い貯蔵種子を廃棄処分するなどの貯蔵庫内整理も実施した。

表 - 1 種子生産管理表

(単位：kg)

年度	スギ				ヒノキ			
	採種量	播種量	試験・処分	備蓄量	採種量	播種量	試験・処分	備蓄量
H 15	40.1	45.4		156.7	20.0	32.3		534.8
H 16	58.5	46.9		168.3	1.3	35.9		500.2
H 17	40.0	40.5		167.8	30.3	60.3	56.5	413.7
H 18	25.3	33.5		159.6	25.3	44.7	8.8	385.5
H 19	23.3	37.8		145.1	20.0	46.3	312.5	46.7
H 20	30.9	27.2		148.8	33.4	23.1		57.0
H 21	21.2	22.3	55.4	93.4	26.3	10.1		73.2